

動物実験に関する自己点検・評価報告書

神奈川工科大学

平成 24 年 7 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・神奈川工科大学 動物実験規程
- ・神奈川工科大学 動物実験関連体制図

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・基本指針に基づいた機関内規程が定められている。

4) 改善の方針、達成予定期

- ・該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・神奈川工科大学 動物実験規程
- ・神奈川工科大学 動物実験関連体制図

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・基本指針に基づいた動物実験委員会が設置されている。

4) 改善の方針、達成予定期

- ・該当しない。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・神奈川工科大学 動物実験規程
- ・計画書等の様式
- ・神奈川工科大学 動物実験関連体制図

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・動物実験計画の動物実験規程等への適合性審査をより確実に行う上では、審査要領等の明確化が有効と考えられる。

4) 改善の方針、達成予定期

- ・平成 24 年度に実施する動物実験委員会の中で、審査要領の要点を検討・議論する。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

4) 改善の方針、達成予定期

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。

- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物室使用内規
- ・実験動物飼養保管マニュアル

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

- ・学内の飼育保管施設は決まっており、動物実験管理者も決めているが、飼育保管施設の定期的な観察が行われていない。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・平成 24 年度より、年 2 回の飼育施設の観察を実施する。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・神奈川工科大学 動物実験規程
- ・神奈川工科大学 動物実験関連体制図
- ・動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

- ・動物実験計画の審査等に関して、動物実験委員会の役割を十分に果たしている。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・該当しない。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験委員会議事録
- ・平成 23 年度下期動物実験計画書
- ・平成 23 年度下期動物実験結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

- ・的確に審査・承認が行われている。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・該当しない。

3. 安全管理をする動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか？)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・実験動物保管マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

- ・マニュアルは整備されているが、飼養記録に不備がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・実験動物飼養保管記録のフォームを作成する。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

- ・空調により温度・湿度の管理をしており、トラブル発生時には守衛所が対応する体制を整備している。

4) 改善の方針、達成予定期

- ・該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物室使用内規

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

- ・学生実験等で初めて動物実験を行う者を対象とした教育用の内規を作成し、年度首に教育を行っている。

4) 改善の方針、達成予定期

- ・該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・平成 23 年度の自己点検・評価報告書を大学内に文書で公開する。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)